

東ティモールからの研修生を迎えて！

～JICA「都市計画アドバイザー」研修～

～六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行っている研修の一環として、東ティモール民主共和国から来日されている計画戦略投資省都市計画局「都市計画アドバイザー」のみなさんが六甲砂防事務所を来訪されました。講義では六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組みなどの説明を行い、現地視察では砂防堰堤と*森の世話人活動地を案内しました。

概 日時：令和6年6月19日（水）9：30～12：00
場 所：六甲砂防事務所
 荒神山西砂防堰堤・森の世話人活動地
 （神戸市東灘区住吉山手9丁目2）

要 主催：JICA
 参加者数：6名（東ティモール）

【位置図】



※「森の世話人」とは

六甲山系グリーンベルト整備事業地において、森づくりを実施しようとするNPO、または市民団体、企業等をいいます。詳細な活動内容については、右記QRコードを参照ください。



講義では、六甲山地で実施している砂防堰堤の整備等の土砂対策事業や、六甲山系グリーンベルト整備事業での地域住民と連携した樹林整備等の取り組み、各事業での課題について説明しました。

現地視察では、砂防堰堤と森の世話人活動地を見学してもらいました。森の世話人活動地では、植樹や伐採など森づくりの活動内容に大変興味を持たれていました。

講義の様子



質疑応答の様子



質疑応答では時間がたりないくらい、多くの質問をしていただきました！



事業概要説明

森の世話人活動地



砂防堰堤(透過部)



砂防堰堤をバックに記念撮影！



現地視察の様子（荒神山西砂防堰堤、森の世話人活動地）

【質疑応答】

Q：砂防堰堤に溜まった土砂を埋め立て地に流用しているのか？

A：今は大規模の埋め立て地の予定がないため、今後どう処理するかが課題となっています。現状では、道路工事や河川の堤防工事など流用先の調整を進めています。

Q：植林するのに適した樹木は何が良いのか？

A：六甲山で植林が始まった時は、荒地でも育ち成長が早い、外来種のニセアカシアを植樹していました。しかし、根が浅いことや他の樹木が育たないという理由から、現在は在来の様々な樹木が生える森を目指して、根が深い樹木を植樹しています。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

